



K中通信

学校だより第7号
令和5年10月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

K中祭文化祭部門スタート

校長 佐藤 由利

木々が色づくまでにはまだ少し間があるようですが、ようやく暑さも落ち着いて、朝夕が過ごしやすくなりました。そんな中、夏休み前から取り組んでいるK中祭文化祭部門がいよいよ今週からはじまりました。地域作品展は4年ぶりの開催となり、私を含め、初めて経験する教職員も少なくありません。来週に迫った合唱祭に向けては各クラスラストスパートといったところです。保護者の皆さま地域の皆さまもぜひ、「地域作品展」と「合唱祭」にお越しいただき、地域の皆さまの作品をお楽しみいただくと共に、生徒たちの活動の成果をご覧ください。

<地域作品展>

地域の皆さまには、たくさんの作品をご出展いただき、心より感謝申し上げます。地域コーディネーターの皆さまのお力添えにより、素晴らしい作品展になりました。さまざまなジャンルや作風があり、一言で感想を述べるのは難しいですが、それぞれの作品に作り手の想いが感じられ、味わい深い作品ばかりです。

また、生徒達の手による日々の授業、夏休み中の課題、部活動、委員会、行事の事後学習新聞なども力作ぞろいで、日頃の取り組みの様子が目に浮かんでくるようです。生徒たちにとっても、仲間の作品だけでなく、地域の皆さまの作品に触れさせていただくことは、さまざまな学びにつながると思います。

生徒の皆さん、時間の許す限り、一つひとつの作品をじっくり味わって、いろいろなことを感じ取って下さい。

<合唱祭に向けて>

前号でも触れましたが、コンクール形式をやめ、新たなスタートをきった「合唱祭」。私も「クラスとしてより良い合唱を創り上げよう」という想いを後押ししたくて、折に触れて話をしたり、各クラスの練習の手伝いに行ったりしてきました。どのクラスに行っても、「自分たちの合唱をより良いものにしよう」という想いが感じられます。そして、どのクラスもリーダーを中心とした練習の成果が確実に出てきています。数日前、久しぶりに3年生の合唱を聴きに行ったら、以前感じていた課題をしっかりとクリアして、次のアドバイスができるようになっていました。1、2年生で音取りの段階で大丈夫かなと心配していたクラスも、だんだんに歌声がまとまってきました。皆さん一人ひとりの力、クラスの花、すごいなと思います。こうやってクラスのハーモニーができあがっていくのと同時に、相手を気遣う気持ちや支えあおうとする想いも育ってきているのだと思います。それらの取り組みが「広がり、重なって」K中全体のハーモニーになり、来週の水曜日は西公会堂に素晴らしい歌声が溢れる一日になることでしょう。